広報かみのかわ3月号 栃木県河内郡上三川町しらさぎ一丁目1番地 0285 (56)

9

夢の舞台甲子園 大島雄也さん(石田上坪)



部の主将を務めるのが大島雄 した。この、 学院が出場する権利をつかみま | 抜高校野球大会。高校球児な 3月2日に開幕する、 誰もが憧れる甲子園に作 作新学院硬式野 第 76

さんです。

は県大会で3位という実績を残 から野球を始め、 年の夏の大会以降、 大島さんは、 作新学院に入学しました。 北小学校3年生 明治中学校で 主将に選

ることができました。」と話してくれ シップをとり、 手はいませんが、 きました。「最初は、チームもボロボ ばれ秋の県大会、関東大会を戦って 今年のチームは飛び抜けた選 立て直していくことが課題で チーム力で勝ち上が みんながリーダー の組み合わせ抽選会に望みます。

硬式野球部監督の大塚孝さんは います。そして主将を中心に 明るくて素直なチームだと思 見てきたチームの中で、 県民皆さんに感動してもらえ 勝っている時もピンチの時も とまっています。甲子園では、 同級生がサポートし、よくま たらいいですね。」 と話してい たいです。また、 一今年のチームは、 い表情でプレーしてもらい 今まで私が 勝つことで

はつらつとフェアプレー、そして全 残らないと思います。高校生らしく、 てくれました。 お願いします。」 力で戦ってきますので応援よろしく ば、 成果を発揮することができれに「甲子園で今までの練習の 大島さんは、 勝っても負けても悔いが とメッセージを残-町 民の皆さん

うです。 甲子園のグラウンドに立つまでは 予想していなかったので驚きました 実感もわかないと思います。」と夢の われ作新学院が選ばれた時は、「正直 月30日、 期待と不安がいっぱいのよ 選抜大会の選考会が行

知っていますか? 上三川町のこんなところ

■上三川城主の墓

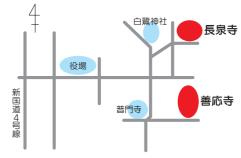
この後、主将としてまず3月15日

上三川城主の墓は2か所あります。一つは善 応寺の横田家の墓、もう一つは長泉寺の今泉 家の墓です。では、なぜ城主の墓が2か所にあ るのでしょう。

上三川城は1249年に横田頼業により築か れ、以後頼業の子孫が代々城主となりました。 ところが、1380年の茂原の戦いで、時の城主 横田師綱が大怪我をし、城主としての務めが 果たせなくなりました。そこで、親戚筋の今 泉元朝に補佐を依頼したのですが、その後城 内での実権を今泉氏が握るようになり、城主 を勤めることとなりました。このようなわけ で、城主の墓が2か所に残されることになっ たのです。

上三川城があった時代は、鎌倉から室町と いう武士の世の中。戦が多かった時代に浮き 沈みがあったのも当たり前ですが、そんなひ とコマを二つの墓は示しているのかもしれま せん。











この印刷物は古紙配合率100%の再生紙と 環境にやさしい大豆油インクを使用しています。